

2024年度

学生募集要項

学校推薦型選抜

尾道市立大学

- ◆経済情報学部 経済情報学科
- ◆芸術文化学部 日本文学科
- ◆芸術文化学部 美術学科

《入学定員、募集人員》

学 部	学 科	入学 定員	募集人員					
			一般選抜		学校推薦型選抜			私費外国人 留学生選抜
			前期 日程	後期 日程	一般 推薦	特別推薦(*1)		
						A 尾道市内 推薦	B 商業・ 総合学科 等推薦	
経済情報	経済情報	200	100	30(*2)	35	7	28	若干名
芸術文化	日本文学	50	30	5	15			若干名
	美 術	50	23	15	12			若干名
合 計		300	153	50	62	7	28	若干名

*1：経済情報学部経済情報学科の特別推薦については、尾道市内にある高等学校等に在籍、または尾道市内に在住している高校生で地域貢献・社会貢献への強い関心を持っている人、商業・総合学科等の高校生で経済・経営・情報を学ぶ意欲の高い人に、特に受験機会を与えるため募集を行います。

*2：経済情報学部経済情報学科の一般選抜 後期日程は、Aコース15人（個別学力検査で数学を課す）と、Bコース15人（個別学力検査で英語を課す）に分けて募集します。どちらかの選択になります。

《入学者選抜実施日程》

選抜 名称		学部	学科	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
学校推薦 型選抜	経済情報	経済情報		2023年11月1日(水) ～11月8日(水)	2023年11月26日(日)	2023年12月4日(月)	2023年12月5日(火) ～12月12日(火)
	芸術文化	日本文学			2023年11月25日(土)		
		美 術			2023年11月25日(土) ～11月26日(日)		
一 般 選 抜	前期	経済情報	経済情報	2024年1月22日(月) ～2月2日(金)	2024年2月25日(日)	2024年3月7日(木)	2024年3月8日(金) ～3月15日(金)
		芸術文化	日本文学		2024年2月25日(日)		
			美 術		2024年2月25日(日) ～2月26日(月)		
	後期	経済情報	経済情報	2024年1月22日(月) ～2月2日(金)	2024年3月12日(火)	2024年3月20日(水)	2024年3月21日(木) ～3月26日(火)
		芸術文化	日本文学		2024年3月12日(火)		
			美 術		2024年3月12日(火) ～3月13日(水)		
私費外国 人留学生 選抜	経済情報	経済情報		2024年1月4日(木) ～1月12日(金)	2024年2月25日(日)	2024年3月7日(木)	2024年3月8日(金) ～3月15日(金)
	芸術文化	日本文学			2024年2月25日(日)		
		美 術			2024年2月25日(日) ～2月26日(月)		

目 次

I	入学者選抜要領	1
[1]	経済情報学部 経済情報学科	1
1	募集人員	
2	出願資格	
3	選抜方法	
[2]	芸術文化学部 日本文学科	4
1	募集人員	
2	出願資格	
3	選抜方法	
[3]	芸術文化学部 美術学科	6
1	募集人員	
2	出願資格	
3	選抜方法	
[4]	不正行為	9
II	出 願 手 続	10
III	合 格 発 表	13
IV	入 学 手 続	13
V	諸経費その他	15
VI	減 免 手 続	15
VII	尾道市立大学へのアクセス	16
別添1	経済情報学部経済情報学科の取得資格・検定等への加点に関して	17
	入学者の受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）	18

I 入学者選抜要領

[1] 経済情報学部 経済情報学科

1 募集人員

一般推薦、特別推薦（尾道市内推薦、商業・総合学科等推薦）に分けて募集します。

募集種別		募集人員
一般推薦		35人
特別推薦※	A 尾道市内推薦	7人
	B 商業・総合学科等推薦	28人

※ 尾道市内の高校生で地域貢献・社会貢献への強い関心を持っている人、商業・総合学科等の高校生で経済・経営・情報を学ぶ意欲の高い人に、特に受験機会を与えるため特別推薦での募集を行います。

2 出願資格

一般推薦

次の各項の全てに該当する必要があります。

- (1) 2024年3月に高等学校等または中等教育学校を卒業見込みの者（2023年4月以降に卒業した者を含む。）
- (2) 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.5以上の者
- (3) 校長が責任をもって推薦する者
- (4) 合格した場合は、本学に入学することを確約する者
 - ※ 1つの学校から推薦できる人数に制限はありません。
 - ※ 令和6年度大学入学共通テストの受験は必要ありません。
 - ※ 本学の特別推薦と併願することはできません。
 - ※ 出身科に制限はありません。

特別推薦

A 尾道市内推薦

次の各項の全てに該当する必要があります。

- (1) 2024年3月に高等学校等または中等教育学校を卒業見込みの者（2023年4月以降に卒業した者を含む。）
- (2) 尾道市内にある高等学校等に在籍している者、または尾道市内に在住している者
- (3) 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.7以上の者
- (4) 校長が責任をもって推薦する者
- (5) 合格した場合は、本学に入学することを確約する者
 - ※ 1つの学校から推薦できる人数に制限はありません。
 - ※ 令和6年度大学入学共通テストの受験は必要ありません。
 - ※ 本学の一般推薦または特別推薦（B 商業・総合学科等推薦）と併願することはできません。
 - ※ 出身科に制限はありません。

B 商業・総合学科等推薦

次の各項の全てに該当する必要があります。

- (1) 2024年3月に高等学校等または中等教育学校を卒業見込みの者（2023年4月以降に卒業した者を含む。）
- (2) 高等学校等の商業系学科または総合学科等に在籍し、次のいずれかに該当する者
 - ・商業に関する専門科目を20単位以上取得した者および取得見込みの者
 - ・情報に関する専門科目を20単位以上取得した者および取得見込みの者
- (3) 調査書の「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者
- (4) 校長が責任をもって推薦する者
- (5) 合格した場合は、本学に入学することを確約する者
 - ※ 1つの学校から推薦できる人数に制限はありません。
 - ※ 令和6年度大学入学共通テストの受験は必要ありません。
 - ※ 本学の一般推薦または特別推薦（A 尾道市内推薦）と併願することはできません。

3 選 抜 方 法

一般推薦

大学入学共通テストおよび個別学力検査を免除し、基礎学力検査（英語）・小論文・面接・調査書および取得資格・検定等を総合して選抜します。

【配点】

試験科目	基礎学力検査 (英語)	小論文	面接	調査書(注1)	取得資格・検 定等(注2)
配点	50	50	40	5	5

(注1) 調査書の「各教科の学習成績の状況」に記載された「数学」または「英語」における学習成績の状況のうち、数値が高いものを点数化します。

(注2) 本学部が指定する資格・検定等のうち、いずれか一つでも取得していれば加点します。
(17頁 別添1)

特別推薦 A 尾道市内推薦 B 商業・総合学科等推薦

大学入学共通テストおよび個別学力検査を免除し、小論文・面接・調査書および取得資格・検定等を総合して選抜します。

【配点】

試験科目	小論文	面接	調査書(注1)	取得資格・検 定等(注2)
配点	100	40	5	5

(注1) 調査書の「各教科の学習成績の状況」に記載された「数学」または「英語」における学習成績の状況のうち、数値が高いものを点数化します。

(注2) 本学部が指定する資格・検定等のうち、いずれか一つでも取得していれば加点します。
(17頁 別添1)

(1) 選抜期日・時間割・内容

2023年11月26日(日)

①一般推薦 [9:00までに入室]

時間	検 査 等 の 内 容	
9:20-10:20	基礎学力検査 (英語)	本学科で学ぶにあたって必要な英語の基礎学力について評価します。
11:00-12:00	小論文	本学科で学ぶにあたって必要な読解力、文章表現能力、論理性や独創性、経済・社会問題に対する関心度などを総合的に評価します。
13:00-	面 接	本学科への志望動機、将来の目標、社会的関心、高校生活、課外活動などについての質問を通して受験生の資質や学習意欲を評価します。

②特別推薦（尾道市内推薦および商業・総合学科等推薦） [10:10までに入室]

時間	検 査 等 の 内 容	
10:30-12:00	小論文	本学科で学ぶにあたって必要な読解力、文章表現能力、論理性や独創性、経済・社会問題に対する関心度などを総合的に評価します。
13:00-	面 接	本学科への志望動機、将来の目標、社会的関心、高校生活、課外活動などについての質問を通して受験生の資質や学習意欲を評価します。

(2) 試験会場

尾道市立大学（案内図は16頁にあります。）

(3) 一般的な受験上の注意事項

- ① 試験当日は、必ず受験票を持参してください。忘れた場合は、速やかに試験場本部で受験票の再交付を受けてください。なお、受験票は入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- ② 一般推薦の受験生は9：00までに、特別推薦の受験生は10：10までに指定された試験室に入室し、着席してください。
- ③ 基礎学力検査および小論文試験開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、時間の延長は行いません。
- ④ **昼食は各自でご準備ください。**
- ⑤ 試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、上着など暖かい服装を持参してください。

(4) 基礎学力検査、小論文、面接受験上の注意事項

- ① 基礎学力検査中および小論文試験中、受験票のほかに机の上に置けるものは、次のとおりです。試験中にこれら以外の所持品を使用または机の上に置いている場合は、不正行為の有無を確認するために解答の一時中断を指示します。
 - ・ 筆記用具（黒の鉛筆またはシャープペンシル）
 - ・ プラスチック製の消しゴム
 - ・ 鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）
 - ・ 時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可。）
- ② 基礎学力検査中および小論文試験中、次のものを使用してはいけません。これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすると不正行為となります。
 - ・ 定規（定規の機能を備えた鉛筆を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
 - ・ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、イヤホン、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類
- ③ 試験時間中、病気・負傷や障害等により机の上に置けるもの以外のものを使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。詳しくは13頁をご参照ください。
- ④ 面接予定時刻等、面接に関することは、一般推薦は基礎学力検査の開始前、特別推薦は小論文試験の開始前に連絡します。

(5) 試験実施上の配慮について

自然災害や人為災害等により、本学会場に來ることができない事情が発生した場合は、速やかに電話で連絡してください。

〔２〕 芸術文化学部 日本文学科

１ 募 集 人 員

募集人員
１５人

２ 出 願 資 格

次の各項の全てに該当する必要があります。

- (１) ２０２４年３月に高等学校等または中等教育学校を卒業見込みの者（２０２３年４月以降に卒業した者を含む。）
- (２) 調査書の「全体の学習成績の状況」が４．０以上の者
- (３) 校長が責任をもって推薦する者
- (４) 合格した場合は、本学に入学することを確約する者
 - * １つの学校から推薦できる人数に制限はありません。
 - * 令和６年度大学入学共通テストの受験は必要ありません。

３ 選 抜 方 法

大学入学共通テストおよび個別学力検査を免除し、小論文・口頭試問・学修調書および調査書を総合して選抜します。

【配点】

試験科目	小論文	口頭試問	学修調書（学びの履歴と計画） （注１）	調査書（注２）
配点	５０	４０		１０

（注１）「学修調書(学びの履歴と計画)」を出願時に提出してください。記載内容に基づいて「口頭試問」を行います。「学修調書(学びの履歴と計画)」と「口頭試問」の結果を総合して評価します。

（注２）調査書の「各教科の学習成績の状況」に記載された「国語」における学習成績の状況について点数化します。

(１) 選抜期日・時間割・内容

２０２３年１１月２５日（土）

時間	検 査 等 の 内 容	
１０：３０－１２：００	小論文	本学科で学ぶにあたって必要な読解力、論理的思考力、ならびに文章表現力などを総合して評価します。
１３：００－	口頭試問	出願時に提出した「学修調書(学びの履歴と計画)」に基づき、志望の理由や専門分野に対する興味・関心のありかたとその理解度、および学習意欲の程度などを総合して評価します。

(２) 試験会場

尾道市立大学（案内図は１６頁にあります。）

(３) 全般的な受験上の注意事項

- ① 試験当日は、必ず受験票を持参してください。忘れた場合は、速やかに試験場本部で受験票の再交付を受けてください。なお、受験票は入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- ② １０：１０までに指定された試験室に入室し、着席してください。

- ③ 小論文試験開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、試験時間の延長は行いません。
- ④ **昼食は各自でご準備ください。**
- ⑤ 試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、上着など暖かい服装を持参してください。

(4) 小論文、口頭試問受験上の注意事項

- ① 小論文試験中、受験票のほかに机の上に置けるものは、次のとおりです。試験中にこれら以外の所持品を使用または机の上に置いている場合は、不正行為の有無を確認するために解答の一時中断を指示します。
 - ・ 筆記用具（黒の鉛筆またはシャープペンシル）
 - ・ プラスチック製の消しゴム
 - ・ 鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）
 - ・ 時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可。）
- ② 小論文試験中、次のものを使用してはいけません。これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすると不正行為となります。
 - ・ 定規（定規の機能を備えた鉛筆を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
 - ・ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、イヤホン、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類
- ③ 試験時間中、病気・負傷や障害等により机の上に置けるもの以外のものを使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。詳しくは12頁をご参照ください。
- ④ 口頭試問予定時刻等、口頭試問に関することは、小論文試験の開始前に連絡します。

(5) 試験実施上の配慮について

自然災害や人為災害等により、本学会場に来ることができない事情が発生した場合は、速やかに電話で連絡してください。

[3] 芸術文化学部 美術学科

1 募 集 人 員

募集人員
1 2 人

2 出 願 資 格

次の各項の全てに該当する必要があります。

- (1) 2024年3月に高等学校等または中等教育学校を卒業見込みの者（2023年4月以降に卒業した者を含む。）
- (2) 芸術（美術）・国語・地理歴史・外国語（英語）の4教科の内、3教科の「学習成績の状況」の平均値が3.4以上で、美術に優れた能力のある者
- (3) 校長が責任をもって推薦する者
- (4) 合格した場合は、本学に入学することを確約する者
 - * 1つの学校から推薦できる人数に制限はありません。
 - * 令和6年度大学入学共通テストの受験は必要ありません。
 - * 推薦書に、上記（2）の4教科の内、「学習成績の状況」の数値が高い3教科の教科名と、それらの平均値を記入してください。
 - * 専門教育を主とする学科において、「教科『芸術（美術）』の学習成績の状況」が、美術の専門科目の読み替え履修によるものである場合は、その専門科目名と単位数を調査書の備考欄に示してください。
 - * 美術に優れた能力のある者としての推薦理由を、推薦書に記入してください。またコンテスト入賞など実績を示すものがあれば、そのコピーを推薦書に添付してください。

3 選 抜 方 法

大学入学共通テストおよび個別学力検査を免除し、実技検査・小論文・面接および調査書を総合して選抜します。

【配点】

試験科目	実技検査	小論文	面接	調査書(注)
配点	50	20	25	5

- (注) 調査書の「指導上参考となる諸事項」に記載された事項から、「主体性を持って学ぶ態度」「多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価します。なお、学校の内外で意欲的に取り組んだ活動等を「備考欄」に具体的に記載してください。

(1) 選抜期日・時間割・内容

2023年11月25日(土) [8:30までに集合]

時 間	出題区分	実技検査[彩色表現]
9:00-12:00 ・ 13:00-16:00	A	着彩写生(木炭紙大画用紙) 【持参用具】水彩絵具、水彩描画用具一式
	B	油彩画(F15号キャンバス) 【持参用具】油絵具、油彩描画用具一式 (筆洗油の使用は不可)
	C	平面構成(B3ケントボード) 【持参用具】水性描画用具一式、 定規、コンパス、製図用具一式

* 出願時に出題区分A・B・Cのいずれかを選択してください。

2023年11月26日(日) [10:10までに入室]

時 間	検 査 等 の 内 容	
9:00-10:00	持参作品の提出(5点まで)。詳細は9頁(6)を参照してください。	
10:30-12:00	小論文	美術の制作と鑑賞に関する主体的な意欲、堅実で柔軟な思考力、独創的な発想、また、文章による表現力などを総合して評価します。
13:00-	面接	本学科で実技を学ぶにふさわしい、美術一般に対する基本姿勢・美的感性・学習意欲などについて問い、評価します。

(2) 試験会場

尾道市立大学(案内図は16頁にあります。)

(3) 全般的な受験上の注意事項

- ① 試験当日は、必ず受験票を持参してください。忘れた場合は、速やかに試験場本部で受験票の再交付を受けてください。なお、受験票は入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- ② 試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、上着など暖かい服装を持参してください。

(4) 実技検査受験上の注意事項(11月25日(土))

- ① 試験会場の掲示により、8:30までに指定された集合場所に集まってください。集合時刻に間に合わなかった場合は、試験会場にいる係員の指示に従ってください。
- ② 実技検査中(9:00~16:00、昼食時を含む)は携帯電話の使用を禁止します。
- ③ 休憩時間中に試験会場の外に出ることはできませんので、**必ず昼食を持参してください。**
- ④ 実技検査の作品は返還しません。

(5) 小論文・面接上の注意事項(11月26日(日))

- ① 10:10までに指定された小論文試験室に入室し、着席してください。
- ② 小論文試験開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、時間の延長は行いません。
- ③ 小論文試験中、受験票のほかに机の上に置けるものは、次のとおりです。試験中にこれら以外の所持品を使用または机の上に置いている場合は、不正行為の有無を確認するために解答の一時中断を指示します。
 - ・ 筆記用具(黒の鉛筆またはシャープペンシル)
 - ・ プラスチック製の消しゴム
 - ・ 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。)
 - ・ 時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、

秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可。)

- ④ 小論文試験中、次のものを使用してはいけません。これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすると不正行為となります。
 - ・ 定規（定規の機能を備えた鉛筆を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
 - ・ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、イヤホン、電子辞書、ＩＣレコーダー等の電子機器類
- ⑤ 試験時間中、病気・負傷や障害等により机の上に置けるもの以外のものを使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。詳しくは１３頁をご参照ください。
- ⑥ 面接予定時刻等、面接に関することは、前日の実技検査終了時に連絡します。
- ⑦ **昼食は各自でご準備ください。**

(６) 持参作品の提出上の注意事項（１１月２６日（日））

- ① １１月２６日（日）の９：００から１０：００までの間に、持参作品を指定された場所に提出してください。持参作品を大学へ送付することはできません。
- ② 持参作品は本人が制作した作品に限ります。
- ③ 持参作品は５点以内とします。
持参できない作品は、写真等をファイルにまとめて持参しても構いません。ファイルは５点のうちに含みません。
- ④ 持参作品は素材や表現方法を問わない平面作品または立体作品とします。
- ⑤ 持参作品は本人が１人で持ち運びできる大きさ・数量に限ります。エレベーターや台車等を使用しての運搬はできません。

(７) 試験実施上の配慮について

自然災害や人為災害等により、本学会場に来ることができない事情が発生した場合は、速やかに電話で連絡してください。

〔４〕 不正行為

- 1 次の行為をすると不正行為となり、受験者は入学試験において失格となります。状況によっては大学から警察に被害届を提出します。
 - (1) 志願票や受験票、解答用紙に故意に虚偽の情報を登録・記入すること。
 - (2) カンニング（試験の教科・科目に関するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
 - (3) 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをすること。
 - (4) 配付された問題用紙を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
 - (5) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - (6) 「解答はじめ」の指示の前に、問題用紙を開いたり、解答を始めること。
 - (7) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、イヤホン、電子辞書、ＩＣレコーダー等の電子機器類を使用すること。
 - (8) 「解答やめ。筆記用具を置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴム等の筆記用具を持っていたり、解答を続けること。
- 2 前項１以外にも、次のことをすると不正行為とみなすことがあります。指示等に従わず、不正行為と認定した場合の取り扱いは、１と同様です。
 - (1) 携帯電話等の電子機器類や許可された筆記用具以外ものをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
 - (2) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - (3) 面接・口頭試問において、試験前に、すでに試験が終了した他の受験者から試験に関する内容を教えてもらうこと。
 - (4) 面接・口頭試問において、試験後に、これから試験を受ける他の受験者に試験に関する内容を教えること。
 - (5) 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
 - (6) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - (7) 試験場において監督者の指示に従わないこと。
 - (8) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

Ⅱ 出 願 手 続

インターネット出願で受け付けます。

出願は、本学ホームページ (<https://www.onomichi-u.ac.jp/>) から

- ① 右側サイドメニュー「インターネット出願」より専用サイトにて出願登録
- ② 入学検定料の支払い
- ③ 出願書類を締切日までに郵送することにより完了します。登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願手続き完了とはなりません。出願書類の印刷及び郵送による提出が必要です。

***インターネット出願では、出願登録の際にメールアドレス（フリーメールのアドレスも可）と志願者本人の写真データが必要です。**

1 出願期間

インターネット出願の登録期間	2023年11月1日（水）～11月8日（水）の15：30まで
入学検定料支払期限	出願登録翌日の23：59まで ただし、11月7日（火）、11月8日（水）に出願登録した者は2023年11月8日（水）の16：00まで
インターネット出願登録後の 出願書類提出期間	2023年11月1日（水）～11月8日（水）（消印有効）

* 出願登録後に内容を修正する場合は、入学検定料の支払を行わず、再度ははじめから登録をやり直してください。

2 インターネット出願サイトへのアクセス

本学ホームページ (<https://www.onomichi-u.ac.jp/>) 上で、「インターネット出願」をクリックしてアクセスしてください。

3 出願方法

- ① 11頁「5 インターネット出願の利用手順」の記載を確認し、インターネット出願サイトから出願登録及び入学検定料（18,000円）の支払いを行い、出願してください。
なお、インターネットから出願登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願手続き完了となりません。出願書類の印刷及び郵送による提出が必要です。
- ② インターネット出願登録時に、スマートフォンやデジタルカメラ等で撮影した志願者本人の写真データ（JPEG形式かつ100KB以上3MB以内）をアップロードにより提出してください。
※ 写真データは、出願前3か月以内に撮影したもので、正面上半身（胸から上）、無帽、無背景とし、志願者本人の顔が明確に確認できるものを提出してください。
- ③ インターネット出願登録及び入学者検定料の支払いが完了後、出願書類送付用封筒（角形2号（24cm×33.2cm））を用意し、「封筒貼付用宛名シート」を印刷して封筒の表側に貼ってください。
※ 事情により「封筒貼付用宛名シート」が出力できない場合は11頁「4 出願書類提出先」へ「インターネット出願書類在中」と朱書してください。
- ④ 出願書類は、志願者ごとに所定の出願用封筒に入れた上で、校長がとりまとめ、学校ごとに一括して提出してください。学校からの志願者が1名の場合は、志願者自身が提出しても差し支えありません。
※ 提出が必要な出願書類は、12頁「6 インターネット出願登録後に提出が必要な書類」を確認してください。
- ⑤ 出願書類の提出は、「書留速達」扱いの郵送、または、直接持参により提出してください。直接持参の場合の受付時間は平日の9：00から17：00までとします。
- ⑥ 志願者本人がインターネットの利用環境を持たない場合は、保護者等の所有する端末を用いる、又は図書館等の公共施設のパソコンのインターネット環境を利用する等でも出願が可能です。

4 出願書類提出先

〒722-8506 広島県尾道市久山田町1600番地2
尾道市立大学 入学試験実施本部
TEL (0848) 22-8311 (代表)
(0848) 22-8381 (直通)

5 インターネット出願の利用手順

① インターネット出願サイトへアクセス

本学ホームページ (<https://www.onomichi-u.ac.jp/>) 上で、右側サイドメニューより「インターネット出願」をクリックして Post@net にログインしてください。(Post@net に初めてアクセスする場合は「新規登録」ボタンからアカウントを作成してください。)

② インターネット出願登録

- ・ 学校一覧から本学を選択し「はじめに」をクリックして出願の手順や注意事項を必ず確認してください。
- ・ メニューの「出願登録」ボタンから、個人情報等の登録及び志願者本人の写真データ (J P E G 形式かつ100KB以上3MB 以内) のアップロードによる提出を行ってください。
- ※ 出願登録の際にメールアドレスが必要です (フリーメールのアドレス利用可)。登録されたメールアドレスは、出願登録完了の通知や入金完了の通知に使用します。受信設定においてドメイン指定をしている場合は、 (@onomichi-u.ac.jpおよび @postanet.jp) のメールを受信できるよう設定してください。
- ※ 出願登録後に内容を修正する場合は、入学検定料の支払いを行わず、再度はじめてから登録をやり直してください。(支払いを行わなかった場合は、一定期間経過後、自動的にキャンセルとなります。)

③ 入学検定料 (18,000円) の支払

コンビニ、クレジットカード、金融機関ATM (P a y - e a s y) の決済方法が選択できます。支払手数料は入学検定料に含まれます。

④ 登録完了・出願書類の印刷

Post@net にログインし出願内容一覧から本学を選択しメニューの「出願内容を確認」ボタンから、「入学志願票」、「封筒貼付用宛名シート」を印刷 (A4・片面) してください。

⑤ 書類の提出準備

- ・ 提出が必要な出願書類 (調査書、推薦書等) を準備してください。
- ・ 角形2号封筒 (24cm×33.2cm) を準備し、印刷した「封筒貼付用宛名シート」を貼ってください。
- ※ 12頁「6 インターネット出願登録後に提出が必要な書類」の記載を確認してください。

⑥ 書類の提出

⑤で準備した書類を「封筒貼付用宛名シート」を貼付した角形2号封筒 (24cm×33.2cm) に入れ、書留速達郵便により提出してください。

- ※ 10頁の「3 出願方法」及び12頁の「6 インターネット出願登録後に提出が必要な書類」の記載を確認し、出願書類の提出を行ってください。
- ※ 入学検定料の支払い後は、登録内容の修正はできません。ただし、「氏名」、「生年月日」、「住所」等を修正する必要がある場合は、「封筒貼付用宛名シート」の「【出願書類の郵送の前に確認してください】」の内容を確認してください。

6 インターネット出願登録後に提出が必要な書類

全学科共通（必須）

提出書類	摘 要
①入学志願票	入学検定料の支払完了後に届く「インターネット出願支払完了」メールに記載のURLもしくは Post@net にログインし出願内容一覧から本学を選択しメニューの「出願内容を確認」ボタンのいずれかにアクセスして、サイズの拡大・縮小はせずにA4サイズで印刷してください。
②推薦書*	校長が作成し、厳封したものを提出してください。
③調査書	文部科学省が定めた様式により校長が作成し、厳封したものを提出してください。

* ②推薦書については、Word形式、PDF形式のファイルを本学ホームページで公開します。

経済情報学部経済情報学科出願者の場合

④住民票記載事項証明書 〔経済情報学科の 尾道市内推薦志願者対象〕	尾道市内に在住し、尾道市外の学校に在籍している者のみ提出してください。
⑤資格・検定等加点申請書*	加点を申請する場合は、資格・検定等加点申請書と当該資格証明書又は当該資格合格書等（コピー可）を添付して出願書類とともに提出してください。申請は任意のため、未申請の場合は加点されませんが、未申請を理由に減点することもあります。期限までに提出されない場合や書類が不備の場合は加点申請を認めることはできません。

* ⑤資格・検定等加点申請書については、Word形式、PDF形式のファイルを本学ホームページで公開します。

芸術文化学部日本文学科出願者の場合

⑥学修調書（学びの履歴と計画）*	出願書類とともに必ず提出してください。 学修調書（学びの履歴と計画）は、これまでに文学やことばに関して特に何をどのように学んできたと言えるかを振り返り、また入学後に何をどのように学びたいのかという見通しについて、記述してもらうものです。
------------------	---

* ⑥学修調書（学びの履歴と計画）については、Word形式、PDF形式のファイルを本学ホームページで公開します。

7 受験票のダウンロード

出願手続完了後、登録されたメールアドレスに送信される「【尾道市立大学】デジタル受験票配信のお知らせ」メール記載のURL、もしくは Post@net にログインし出願内容一覧から本学を選択しメニューの「出願内容を確認」ボタンのいずれかにアクセスして、ダウンロードした受験票を印刷の上、試験当日に必ず持参してください。

8 インターネット出願に関する注意事項

（全学科共通）

- ① 国公立大学の学校推薦型選抜への出願は、大学入学共通テストを課す・課さないに関係なく、1つの大学・学部に限ります。従って、本学の学校推薦型選抜に出願した場合は、他の国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することはできません。
- ② 出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。
- ③ いったん出願手続が完了した者の出願書類および入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。

（芸術文化学部美術学科出願者の場合）

- ④ 実技検査で出題区分A・B・Cのいずれを選択するかを、出願登録時に選択してください。なお、出願後の変更はできません。
- ⑤ 美術に優れた能力のある者としての推薦理由を推薦書に記入してください。また、コンテスト入賞など実績を示すものがあれば、そのコピーを推薦書に添付してください。

9 障害等のある入学志願者との事前相談

病気・負傷や障害等により受験上の配慮を希望する場合は、尾道市立大学入学試験実施本部へ相談してください。

事前相談の期限 2023年10月2日（月）

なお、相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。本学ホームページ（<https://www.onomichi-u.ac.jp/guidance/syougaisyasien.html>）に詳細を掲載しています。

10 受験時の宿泊

受験時の宿泊については、各自で手配してください。

III 合格発表

1 発表日時

2023年12月 4日（月）10:00

2 発表方法

- ① 尾道市立大学の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。本学ホームページ（<https://www.onomichi-u.ac.jp/>）による合格発表も行いますが、あくまでも補助的な手段です。大学が郵送する合格通知書で必ず確認してください。
- ② 校長には関係受験者の可否について文書で通知します。
- ③ 電話による可否の問い合わせには、一切応じません。

3 注意事項

学校推薦型選抜に合格しなかった者が、本学および他の国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）の個別学力検査等（一般選抜）を志願する場合は、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つ、「公立大学中期日程」から1つの合計3つまでの大学・学部を選んで出願することができます。ただし、大学入学共通テストにおいては、志望する大学・学部が指定する教科・科目を受験しておく必要があります。

* 独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については、公立大学協会ホームページ（<https://www.kodaikyo.org/nyushi>）で確認してください。

IV 入学手続

1 入学手続期間

2023年12月 5日（火）～2023年12月12日（火）17:00まで（必着）

2 入学手続方法

- ① 合格通知書とともに送付する「入学手続要領」の説明を参照してください。
- ② 手続期間内に手続書類の提出と入学料の納入が行われることで、入学手続の完了とします。
- ③ 入学料は合格通知書とともに送付する納付書に必要事項を記入し、最寄りの金融機関の窓口で振り込んでください。
- ④ 書類の提出は、郵送（消印有効）または直接持参によって行ってください。なお、直接持参の場合の受付時間は平日の9:00から17:00までとします。
- ⑤ 入学手続先
〒722-8506 広島県尾道市久山田町1600番地2
尾道市立大学 入学試験実施本部
TEL (0848) 22-8311（代表）
(0848) 22-8381（直通）
- ⑥ 入学手続を完了した者には、入学手続期間終了後に、入学許可書を送付します。
- ⑦ 入学手続を完了した者には、「入学前課題」の案内を同封しますので、必ず所定の期限までに提出してください。

3 入学手続時納付金

区 分	入 学 料	対 象
市 内	2 8 2, 0 0 0 円	次のいずれかが尾道市内に、入学月の初日の1年以上前から引き続き住民登録をしている者 ・ 本人 ・ 本人の配偶者または1親等の親族
市 外	4 2 3, 0 0 0 円	上記以外の者

* 入学手続時納付金は前年度の金額です。

* 納入時の振込手数料はご負担ください。

4 提 出 書 類

- ① 宣誓書・誓約書
- ② 住民票の写し（尾道市役所又は各支所の窓口で交付された原本）

入学手続時納付金の区分において、「市内」に該当する者のみ提出してください。

注）高等学校等を卒業後2024年3月22日（金）までに、その卒業を証明する書類を郵送または直接持参によって提出してください。

5 入学手続上の注意点

いったん受理した入学手続書類および振り込まれた納付金は、いかなる理由があっても返還しません。

6 その他注意事項

- ① 学校推薦型選抜の合格者は、学校推薦型選抜の趣旨から、入学の辞退を認めません。ただし、合格者の推薦を行った高等学校長等から、入学手続期限までに「推薦入学辞退願」が提出され、特別の事情があるとして、本学の学長が許可した場合に限り、入学を辞退することができます。
- ② 学校推薦型選抜の合格者が入学手続を完了したときは、本学または他の国公立大学の学校推薦型選抜、個別学力検査等（一般選抜）を受験しても、入学許可を得ることはできません。
- ③ 学校推薦型選抜の合格者が、入学手続期限までに入学手続を完了しないときは、学校推薦型選抜合格者としての権利が消失することになるとともに、本学または他の国公立大学の個別学力検査等（一般選抜）を受験しても、入学許可を得ることはできません。
- ④ 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名および大学入学共通テストの受験番号に限って、学校推薦型選抜の合格および入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センターおよび併願先の国公立大学に送達されます。
- ⑤ 入学出願書類や入学手続に関して本学が知り得た個人情報および入学試験の成績や結果に関する個人情報は、「尾道市立大学における個人情報の取扱い及び管理に関する規程」に基づき適正な管理を行います。これらの個人情報は、入学者選抜業務のほか教育的な目的や学生生活に関連して利用する場合があります。
- ⑥ 入学手続終了後、高等学校等を卒業できない等の事由が生じた場合は、入学許可を取り消します。

V 諸経費その他

1 入学後に必要となる経費

項 目	金 額	備 考
①授業料	5 3 5, 8 0 0 円 [年 額]	4 月、1 0 月に分けて納入
②学生教育研究 災害傷害保険料	4, 6 6 0 円 [4 年分]	4 月に納入
③後援会入会金	1 0, 0 0 0 円	4 月に納入
④後援会費	5 0, 0 0 0 円 [年 額]	
⑤学友会入会金	1, 0 0 0 円	
⑥学友会費	7, 0 0 0 円 [年 額]	

- * 上記は前年度の金額です。
- * 美術学科はこの他に、初年度実習費として5～6万円、3年次に古美術研究旅行費として20～40万円程度が別途必要になります。
- * 経済情報学科では、ノート型パソコンが必携となります。詳細は入学前にお知らせしますが、場合によっては新たに購入する必要があります。（前年度大学幹旋ノート型パソコンは14万円程度）
- * 日本文学科では、大学での学修にパソコンやWi-Fi等の通信環境が必要だと考えています。詳細は、合格通知書発送時にお知らせします。
- * 入学までにスマートフォン（OSアップデート可能なもの）を準備してください。
- * 納入時の振込手数料はご負担ください。

2 奨 学 金

独立行政法人 日本学生支援機構奨学金（無利子貸与、有利子貸与）の他に、地方公共団体等の奨学金制度があります。詳しくは、入学後の説明会等で案内します。

3 下 宿 等

本学が運営している学生寮はありません。民間経営の寮・アパート等の資料を11月下旬より、本学に準備しています。

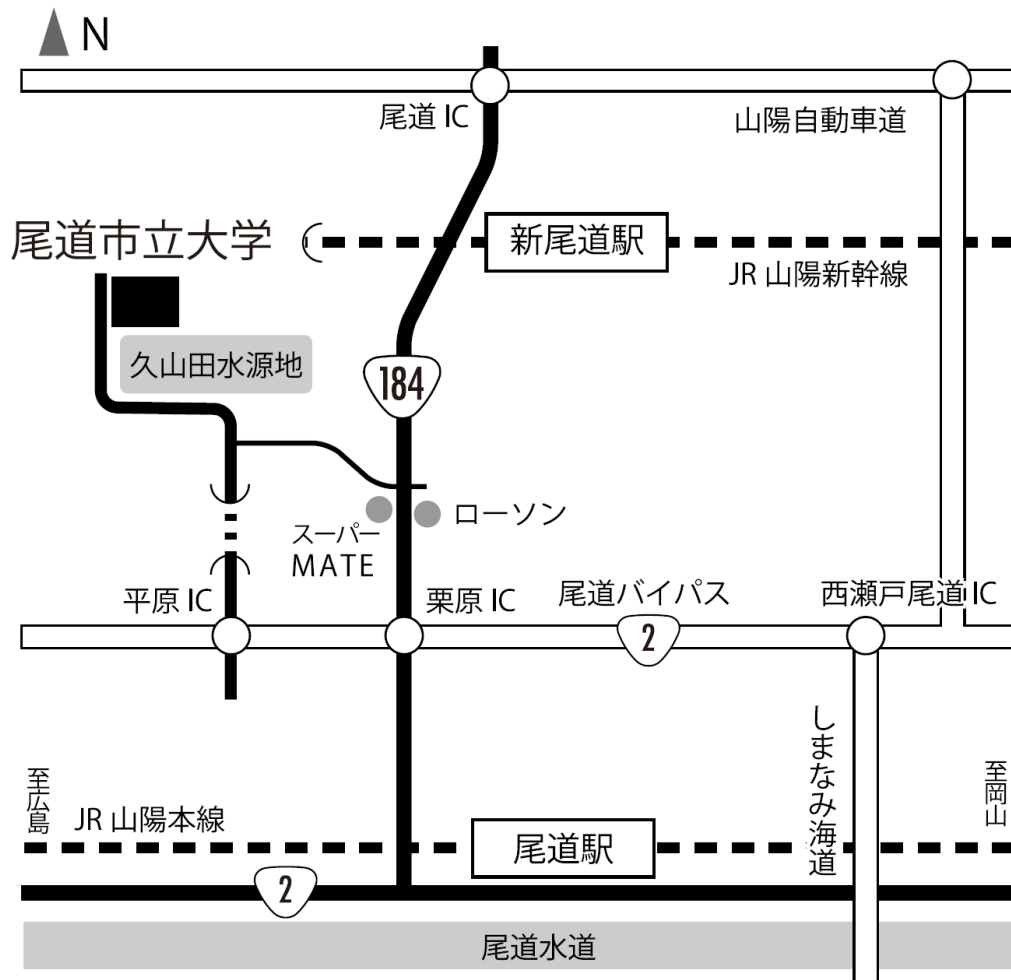
VI 減 免 手 続

大学等における修学の支援に関する法律等に基づく減免手続については、入学後申請手続きを行ってください。決定後、減免区分に応じ、減免額を還付します。

VII 尾道市立大学へのアクセス

注意事項

- ① 試験前日は試験会場の所在地の確認はできますが、試験会場内への立ち入りはできません。
- ② 試験会場およびその付近に駐車場はありません。
- ③ 試験会場周辺等で各種幹旋を行う者があっても、本学とは一切関係ありません。



尾道市立大学への交通

J R 山陽本線 尾道駅より

駅前バスターミナル（③番のりば）より「尾道市立大学」または「陽光台」行きバスで約20～40分、「尾道市立大学」下車。

J R 山陽新幹線 新尾道駅より

南口（③番のりば）より「尾道市立大学」または「陽光台」行きバスで約15分、「尾道市立大学」下車。

タクシー利用で約10分。

自家用車で送迎の場合、尾道バイパス・平原 I C 経由が便利です。

試験当日には、両駅からバスの臨時便（直行便）を運行します。

運行予定時刻表等の詳細は11月中旬ごろに本学ホームページへ掲載します。

別添 1 経済情報学部経済情報学科の取得資格・検定等への加点に関して

次に掲げる資格をいずれか一つでも取得している者に対し、資格・検定等加点申請書と当該資格証明書又は当該資格合格書等（コピー可）を添付して出願書類とともに提出することを条件として、5点を加点します。

【加点の対象となる資格】

- ・ C E F R (C o m m o n E u r o p e a n F r a m e w o r k o f R e f e r e n c e f o r L a n g u a g e s : L e a r n i n g , t e a c h i n g , a s s e s s m e n t : 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠) 対照表 (資料1) において「B1」以上の者
- ・ I Tパスポート、基本情報技術者およびその上位資格取得者
- ・ 全国商業高等学校協会主催 情報処理検定試験 1級 (ビジネス情報部門、プログラミング部門のどちらか一方で可) 取得者
- ・ 日商簿記検定試験 3級以上取得者
- ・ 全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定 1級 (全科目合格) 取得者
- ・ 全国経理教育協会 簿記能力検定試験 1級以上 (全科目合格) 取得者

－資料1－

英語資格・検定試験と C E F R との対照表

CEFR	ケンブリッジ英語検定	実用英語技能検定 (英検)	GTEC (CBTタイプに限る)	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT®テスト	TOEIC L&R + TOEIC S&W
C2	200 - 230			8.5 - 9.0				
C1	180 - 199	1級合格	1350 - 1400	7.0 - 8.0	375 - 400	800	95 - 120	1845 - 1990
B2	160 - 179	準1級合格	1180 - 1349	5.5 - 6.5	309 - 374	600 - 795	72 - 94	1560 - 1840
B1	140 - 159	2級合格	930 - 1179	4.0 - 5.0	225 - 308	420 - 595	42 - 71	1150 - 1555
A2	120 - 139	準2級合格	680 - 929		135 - 224	235 - 415		625 - 1145
A1	100 - 119	3級合格	260 - 679					320 - 620

- ・ この対照表は、「各資格・検定試験と C E F R との対照表 (文部科学省平成30年3月作成)」を基に作成。
- ・ 表中の数値は各資格・検定試験の定める試験結果のスコアを指す。スコアの記載がない欄は、各資格・検定試験において当該欄に対応する能力を有していると認定できないことを意味する。
- ・ ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定 (英検) 及び G T E C は複数の試験から構成されており、それぞれの試験が C E F R との対照関係として測定できる能力の範囲が定められている。当該範囲を下回った場合には C E F R の判定は行われず、当該範囲を上回った場合には当該範囲の上限に位置付けられている C E F R の判定が行われる。
- ・ 実用英語技能検定 (英検) は級の合格のみで判断し、英検 C S E スコアは用いない。
- ・ T O E I C ® L i s t e n i n g & R e a d i n g T e s t 及び T O E I C ® S p e a k i n g & W r i t i n g T e s t s の両方の認定証が必要。T O E I C ® S p e a k i n g & W r i t i n g T e s t s のスコアを2.5倍にして合算する。I P テスト (団体受験) の成績は活用しない。

入学者の受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

全学

教育の理念・目的と求める学生像

尾道市立大学の教育は、専門の学芸と幅広い教養を身につけ、知的能力および豊かな人間性を発揮できる人材を育成すること、また、地域社会との連携・交流を重視し、広く地域に開かれた大学として芸術文化の向上と産業の活性化に貢献できる人材を養成することを目的としています。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けることのできる者として、次のような人の入学を受け入れます。

（知識・技能）（思考力・判断力・表現力）

- ・ 学問や芸術を学ぶことを通じて、豊かな心と幅広い視野を持ちたいと願う人
- ・ 知と美に対する探究心と創造意欲のある人
- ・ 専門的知識・技能を身につけ、地域社会や国際社会に貢献したい人

（主体性・多様性・協働性）

- ・ 何事にも好奇心をもって積極的に挑戦し、自己の目標に向かって不断の努力をする人
- ・ 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ人

各学部・学科では、これらに関連する入学前の能力や適性について、それぞれのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーをふまえ、多面的・総合的に評価し、入学者の選抜を行います。

全学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

詳細は[こちら](#)からご覧ください。



経済情報学科の入学者の受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

教育の理念・目的と求める学生像

経済情報学科は、経済・経営、そして情報の3分野を併せて学ぶことを特長としています。基礎的理論と実践的・応用的知識を兼ね備え、主体性をもって自ら問題を設定し解決することで、現代社会のニーズに応えられる人材、社会貢献や地域貢献ができる人材の育成を目指しています。

このような教育理念・目的に基づき、経済情報学科は次のような人を求めています。

- ・日常生活の経済現象に関する基礎的な考え方や理論を理解し、各種資料や経済統計を活用して実際の経済を分析し、経済問題を世界的観点から考えて責任ある選択・意思決定ができるようになりたい人
- ・経済社会を支える企業活動の現実を直視し、企業経営に関する理論や分析手法を幅広く学んだうえで、その成果を組織の仕組みの改善に活かしたい人
- ・現代社会の基盤となっている情報システムやネットワークの基本原則を学び、社会問題の解決や日常生活の利便性の向上に意欲のある人

入学後の学びに必要な能力や適性等

経済情報学科の教育課程に適応するために必要な入学時の能力や適性等は、以下の通りです。

（知識・技能）

- ①人間・社会・自然に対する深い理解、経済・経営・情報 3 分野の基礎的な知識の修得につながる「高等学校等で学ぶ国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の基礎的な知識・技能」

（思考力・判断力・表現力）

- ②問題分析力・解決力・情報収集力やコミュニケーション力につながる

- ②-a. 「高等学校等で学ぶ国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の基礎的な知識・技能をふまえた思考力・判断力」

- ②-b. 「数学的思考力」または「英語の読解力と表現力」

- ②-c. 「専門分野（経済・経営・情報）に関する文章の読解力と自らの考えを論理的にまとめる表現力」

（主体性・多様性・協働性）

- ③実社会における実践や問題解決力につながる「責任ある選択・意思決定、組織の仕組みの改善、社会問題の解決や日常生活の利便性の向上に向けて行動しようとする意欲」

【経済情報学科】

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

詳細は[こちら](#)からご覧ください。



入学後の学びに必要な能力や適性等と入学者選抜における評価との対応

学力の3要素					知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体性・多様性・協働性
入学後の学びに必要な能力や適性等					①	②-a	②-b	②-c	③
入試区分、 検査等の内容（配点）	学校推薦型選抜	一般推薦	調査書「全体の学習成績の状況」（出願要件）		○	○			
			基礎学力検査（英語）（50点）				○		
			小論文（50点）			○		○	
			面接（40点）			○			○
			調査書「数学」または「英語」の学習成績の状況（5点）			○	○		
			資格取得・検定等（加点5）						○
		特別推薦A、B	調査書「全体の学習成績の状況」（出願要件）		○	○			
			小論文（100点）			○		○	
			面接（40点）			○			○
			調査書「数学」または「英語」の学習成績の状況（5点）			○	○		
			資格取得・検定等（加点5）						○
	一般選抜	前期	共通テスト（700点）		○	○			
			個別学力検査（数学、英語）（300点）			○	○	○	
			調査書「数学」または「英語」の学習成績の状況（50点）			○	○		
			資格取得・検定等（加点5）						○
		後期A、B	共通テスト（400点）		○	○			
			個別学力検査（数学または英語）（100点）			○	○	○	
			調査書「数学」または「英語」の学習成績の状況（25点）			○	○		
			資格取得・検定等（加点5）						○
	留学生選抜 私費外国人	外国において、学校教育における12年の課程を修了またはこれに準ずる者（出願要件）				○	○		
		日本留学試験（日本語、総合科目、数学）（50点）		○					
		日本留学試験（日本語（記述））（10点）				○	○		
		小論文（50点）				○		○	
		面接（50点）				○		○	○

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

入学までに「基礎学力である高等学校等で学ぶ国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の知識」を身につけていることが必要です。特に、問題分析力につながる「基礎的な数学力」や、情報収集やコミュニケーションにつながる「英語力」を身につけていることを重視しています。また、経済・経営・情報への関心を持っていることを評価しています。そのため、これらの話題について日頃から調べたり、関連する資格取得・検定に挑戦したりしていることなどが望まれます。

日本文学科の入学者の受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

教育の理念・目的と求める学生像

日本文学科では、豊かな人間性と幅広い視野、高度な言語運用能力をもとに諸共同体のリーダー・教育者・創作者等として主体的に社会に貢献できる人の育成を目指しています。自らの力でテキストの精読や実地調査に基づく分析を行い、他者との議論や対話を通して言語文化の探究と創造に取り組む活動に重点をおいた教育を展開します。

このような教育理念・目的に基づき、日本文学科は次のような人を求めています。

- ・高等学校等までの教育課程において確かな国語の力を身につけた人
- ・問いをもって対象に向き合い、論理的に思考し判断する力を鍛えてきた人
- ・知的探究心をもって日本語・日本文学を深く研究していく意欲がある人
- ・文学作品のもつ多様な価値観を柔軟に受け止められる人
- ・読解力・表現力・対話力を活用して協働的に社会に参画する意欲がある人

入学後の学びに必要な能力や適性等

日本文学科の教育課程に適応するために必要な入学時の能力や適性等は以下の通りです。

（知識・技能）

①日本語・日本文学・中国文学・欧米文学に関する基本的な知識と研究方法の修得のために、高等学校等までの教育課程において確かな国語の力を身につける必要があります。

②周辺領域の考え方や理論と関連付けながら、日本語と日本文学を中心とする学修の拡充と深化を図るために、高等学校等までに学ぶ幅広い教科・科目の知識と技能が必要です。

（思考力・判断力・表現力）

③テキストの精読や実地調査を行い、論点を定めた分析や表現の探究に取り組むために、高等学校等までの学習において、論理的・創造的に考える力や他者との関わりの中で伝え合う力、自分の思いや考えを広げたり深めたりする力が必要です。

（主体性・多様性・協働性）

④著名な文学作品を読み、作品のもつ多様な価値観を柔軟に受け止める力が必要です。

⑤日本語・日本文学を深く研究していくためにことばや文学、文化への知的探究心が必要です。

⑥他者との議論や対話を通して協働的に学ぶ力が必要です。

【日本文学科】

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

詳細は[こちら](#)からご覧ください。



入学後の学びに必要な能力や適性等と入学者選抜における評価との対応

学力の3要素				知識・技能		思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性				
入学後の学びに必要な能力や適性等				①	②	③	④	⑤	⑥		
入試区分、 検査等の内容（配点）	学校推薦型選抜	一般推薦	調査書「全体の学習成績の状況」（出願要件）		○	○					
			小論文（50点）					○			
			口頭試問	}（40点）			○	○	○	○	
			学修調査書（学びの履歴と計画）				○	○	○	○	
			調査書「国語」の学習成績の状況（10点）			○		○	○	○	○
	一般選抜	前期	共通テスト（500点）				○	○			
			個別学力検査（国語）（200点）			○		○			
			調査書「国語」の学習成績の状況（10点）			○		○	○	○	○
		後期	共通テスト（500点）				○	○			
			個別学力検査（国語）（200点）			○		○			
			調査書「国語」の学習成績の状況（10点）			○		○	○	○	○
	留学生選抜 私費外国人	外国において、学校教育における12年の課程を修了またはこれに準ずる者（出願要件）				○	○				
		日本留学試験（日本語）（50点）			○						
		小論文（60点）					○				
面接（40点）					○	○	○	○			

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

- ・「国語」において読む、書く、聞く、話す能力を養い、自分の考えを的確に表現できる文章力やコミュニケーション力を身につけてください。
- ・古典の学習を充分に行い、古典に関する基本的な知識や教養を身につけてください。
- ・文学作品、新聞、言葉や文化について書かれた書物を読んで、思考を深めたり広げたりして、多様な価値観を尊重する態度を養ってください。
- ・周辺領域の考え方や理論と関連付けながら、日本語と日本文学を中心とする学修の拡充と深化を図るために、高等学校等での外国語の学習にも意識的に取り組んでください。
- ・その他の教科・科目においても、広い知識を身につけようとする積極性と、常に問題意識を持ち、解決しようとする態度を養ってください。

美術学科の入学者の受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

教育の理念・目的と求める学生像

美術学科の教育理念は、美術における専門家として持続的に創作活動に携わり、地域や社会の文化・芸術に寄与する人材を育成することにあります。

個々の学生の美に寄せる豊かな感性を尊重しながら、実技教育を通して専門的な知識・技術を獲得させること、また、学生が相互に切磋琢磨する機会を通して、芸術文化に関する幅広い視野を身につけさせることを目的とします。その上で、作家やデザイナーとして、あるいは美術教員や学芸員等として、持続的に美術に携わることのできる人材の育成を目指しています。

このような教育理念・目的に基づき、高等学校までの学習を通して培った理解力と思考力、美術の表現力を前提とした上で、美術学科は次のような人を求めています。

- ・豊かな発想や色感を持ち、構成力、描写力などの基礎的な造形力を持つ人
- ・本学で学修を進めるために必要な基本的な知識、理解力を持つ人
- ・自らの問題意識にしたがって考え、客観的な視点を持つ意欲のある人
- ・自らの感覚や思考を、美術表現や言葉によって他者に伝える意欲のある人
- ・主体性を持って学ぶ姿勢を持ち、多様な人々と協働して学ぶ意欲のある人
- ・将来的なビジョンを持ち、自らの創造性を高める意欲のある人

入学後の学びに必要な能力や適性等

美術学科の教育課程に適応するために必要な入学時の能力や適性等は以下の通りです。

（知識・技能）

- ①持続的な創作活動に必要な造形の知識・技術を修得するために、高等学校までに基礎的なデッサンや彩色の表現力を身につける必要があります。
- ②造形の知識・技術を活用する上で必要となる様々な考え方を修得するために、高等学校までに学ぶ幅広い教科・科目の知識と技能が必要です。

（思考力・判断力・表現力）

- ③自己表現の方向性を探究するために、高等学校までに自身の表現や適性などについて考え、伝える力を身につける必要があります。

（主体性・多様性・協働性）

- ④明確な目標を持ちながら、自らの創造性を高めるために、主体性を持って学ぶ態度、多様な人々と協働して学ぶ態度が必要です。

【美術学科】

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

詳細は[こちら](#)からご覧ください。



入学後の学びに必要な能力や適性等と入学者選抜における評価との対応

学力の3要素				知識・技能		思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性
入学後の学びに必要な能力や適性等				①	②	③	④
入試区分、 検査等の内容（配点）	学校推薦型選抜	一般推薦	調査書「芸術（美術）・国語・地理歴史・外国語（英語）の4教科の内、3教科の「学習成績の状況」、及び美術の優れた能力（出願要件）」		○		
			実技試験（50点）	○		○	
			小論文（20点）			○	○
			面接（25点）			○	○
			調査書「指導上参考となる諸事項」（5点）				○
	一般選抜	前期	共通テスト（600点）		○	○	
			実技検査（900点）	○		○	
			学修計画書（100点）			○	○
			調査書「指導上参考となる諸事項」（20点）				○
		後期	共通テスト（300点）		○	○	
			実技検査（900点）	○		○	
			学修計画書（100点）			○	○
			調査書「指導上参考となる諸事項」（20点）				○
	留学生選抜 私費外国人		外国において、学校教育における12年の課程を修了またはこれに準ずる者（出願要件）」		○	○	
			日本留学試験（日本語、総合科目）（10点）		○	○	
			実技（40点）	○		○	
			小論文（20点）			○	○
			面接（30点）			○	○

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

- ・基礎的なデッサンや彩色の表現力を培うために、作品の数を積み重ねるだけでなく、質を高めるよう意識してください。
- ・モチーフとなる対象をしっかりと観察し、形を正確に捉えることに加え、質感の表現などにも注意を払ってみてください。
- ・制作を通じて、自身の興味・関心のあるものを探していくことを意識してください。
- ・感性を高めるために、展覧会などを訪れて実物に触れることを意識してください。
- ・作品や自身の表現について他者と対話する機会を設け、多様な価値観に触れてください。
- ・実技に関わるだけでなく、美術以外の科目の学習にも意識的に取り組んでください。

尾道市立大学

入学試験実施本部

〒722-8506

広島県尾道市久山田町1600番地2

TEL 0848-22-8311 (代表)

0848-22-8381 (直通)

FAX 0848-22-5460

(受付時間 平日9:00 ~ 17:00)

ホームページ

<https://www.onomichi-u.ac.jp/>